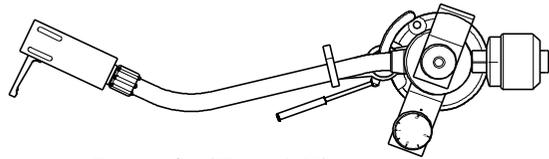


SA-750 トーンアーム 取り扱い説明書

[JELCO] 市川宝石株式会社
東京都豊島区上池袋4-29-9
TEL:03-3916-4611
FAX:03-3916-4614
mail@jelco-ichikawa.co.jp



トーンアームの取り付け方 (図1, 2 参照)

1. プラスチック製の取付けゲージ (MOUNTING TEMPLATE)の穴 (SPINDLE)にターンテーブルのスピンドルを通し、図1のようにトーンアームの取り付け位置を決め、ガイドピンを使用してマーキングする。プラスチック製の取付けゲージのマーキング用の穴位置表示は、750D-(214) 750DB-(214) 750E-(240) 750L-(290) 750LB-(290)です。
2. アームベース型紙 (紙製のTONE ARM MOUNTING TEMPLATE)を図2のように置き、アームスタンド中心 (ARM STAND CENTER)をプラスチック製の取付けゲージでマーキングした位置に合わせ、型紙に従って、Φ30mm穴及び3つのΦ4.2mm穴を明ける。
3. アームベース (添付図面参照)を付属のM4ボルト、ワッシャー、ナットでアームボードに固定する。
4. トーンアームシャフトをアームベースの穴 (Φ18.1mm)に挿入し、高さを調整し、固定用ビス (アームベース横)で固定する。

図1

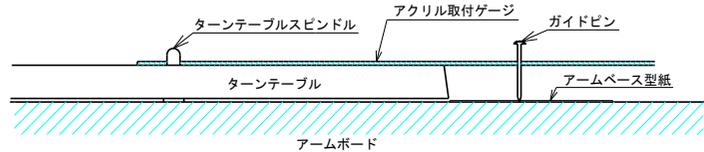
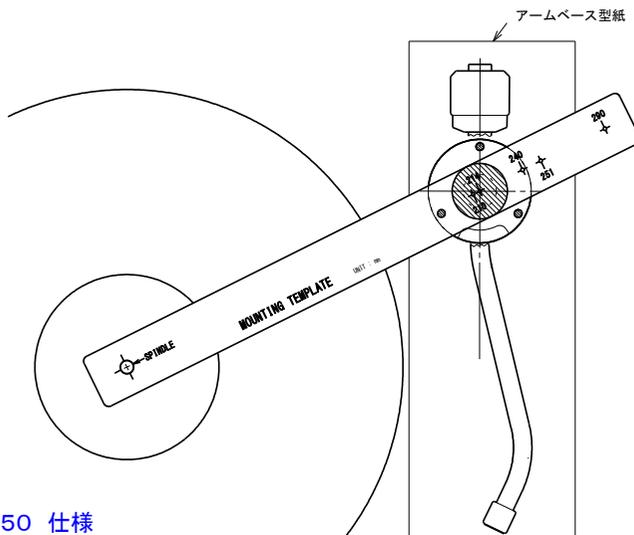


図2



包装箱の中の内容

- 1 x トーンアーム 本体
- 1 x トーンアーム ベース
- 1 x ヘッドシェル
- 1 x カウンターウェイト
- 1 x プラスチック製取付けゲージ
- 1 x アームベース取付け型紙
- 1 x ダンピングオイル (シリコンオイル)
- 3 x M4 x 25mm ボルト
- 3 x M4 ナット
- 3 x Φ4 ワッシャー
- 1 x 六角レンチ 1.5mm
- 1 x 六角レンチ 2.0mm
- 1 x 六角レンチ 2.5mm
- 1 x 六角レンチ 3.0mm
- 1 x ガイドピン

SA-750 仕様

モデル名	SA-750D	SA-750DB	SA-750E	SA-750L	SA-750LB
色	Bronze	Black	Bronze	Bronze	Black
実効長 (トーンアームピボットから スタイルポイントまで)	229mm	229mm	255mm	305mm	305mm
有効長 (トーンアームピボットからターンテーブル中心まで)	214mm	214mm	240mm	290mm	290mm
オーバーハング	15mm	15mm	15mm	15mm	15mm
オフセットアングル	22°	22°	21°	19°	19°
トラッキングエラーアングル	+1.9° -1.1°	+1.9° -1.1°	+1.75° -1.25°	+1.42° -0.97°	+1.42° -0.97°
水平感度 (初動作感度、内部配線干渉排除時)	30mg	30mg	30mg	30mg	30mg
上下感度 (初動作感度、内部配線干渉排除時)	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg
カートリッジ重量使用範囲	4~12gr	4~12gr	4~12gr	4~12gr	4~12gr
高さ調整範囲	38~60mm	38~60mm	38~60mm	38~60mm	38~60mm

トーンアームの水平バランス/針圧調整

水平バランス

1. トーンアームにヘッドシェルとカートリッジを装着する。(カートリッジの重量が 4~12grの範囲まで。使用可能ですが、重量が12grを超えるカートリッジを使用する場合はオプションウエイト (別売) を用意して下さい、オプションウエイトを使用した場合は12~24grまでの重量のカートリッジが使用可能です)
2. カウンターウエイトを装着し、回転させてトーンアームが水平になるように調整する。

針圧調整

1. カウンターウエイト前部の針圧目盛を"0"にあわせる。
2. カウンターウエイト全体を回転させながら前進させ、所定の針圧を選ぶ。

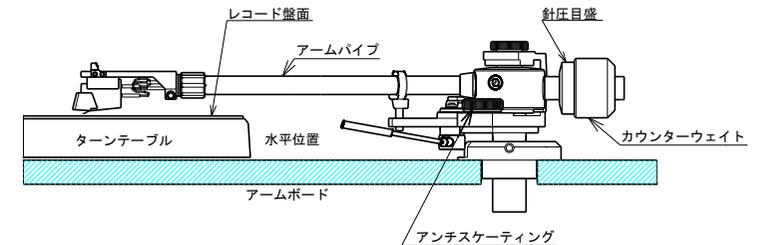
スタイラスチップの高さ調整

1. リフトアップした時のレコード面から針先までの高さを 5mm~10mm程度に調整して下さい。

注意

トーンアームを組み立ててある全てのネジを動かさないで下さい。正確な治具の中で組み立てられていますので動作不良の原因になります。

図3



アンチスケータイング

レコードの回転は針に求心力を生み、レコードの回転中心に向けてトーンアームを動かします。アンチスケータイングは求心力と反対の方向の力をトーンアームに与え、針の動きを中立に保ちます。アンチスケータイングの目盛は0~3まで、一目盛 0.5gr になっています。アンチスケータイングは針圧に合わせて使用しますが、針先の形状等で求心力の発生が異なりますので少な目 (針圧の60%) に設定し、音を聞いて適正に調整してください。

ダンピングオイル

1. ダンピングオイル (シリコンオイル) を図4のように注入して使用します。
2. 適量は図5のようにカップ半分程度です。
なお、ダンピングオイルなしでも使用可能です。

図4

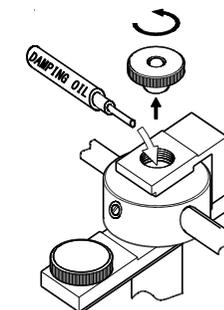


図5

